# 大腸CT検査について

## 大腸CT検査とは？

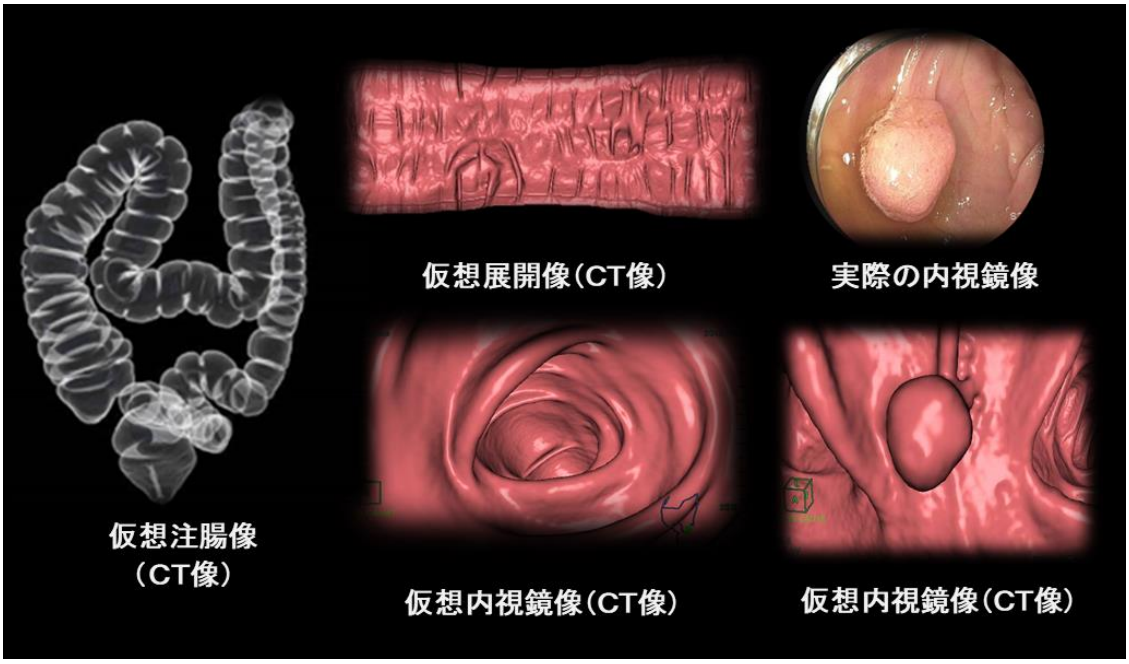
○内視鏡を使わない新しい検査です

○マルチスライスCT装置により3次元画像を作成して正確な検査が行えます

○内視鏡挿入や造影剤注入の必要がないため苦痛の少ない検査です

（吸収・排出されやすい炭酸ガスの注入は必要となります）

○検査部屋入室から退室まで20分程度の検査です




新型のCTで鮮明な画像の作成や3次元画像による大腸内部の検査も行えます

●大腸CTで異常が見つかった場合は内視鏡による検査が必要となります

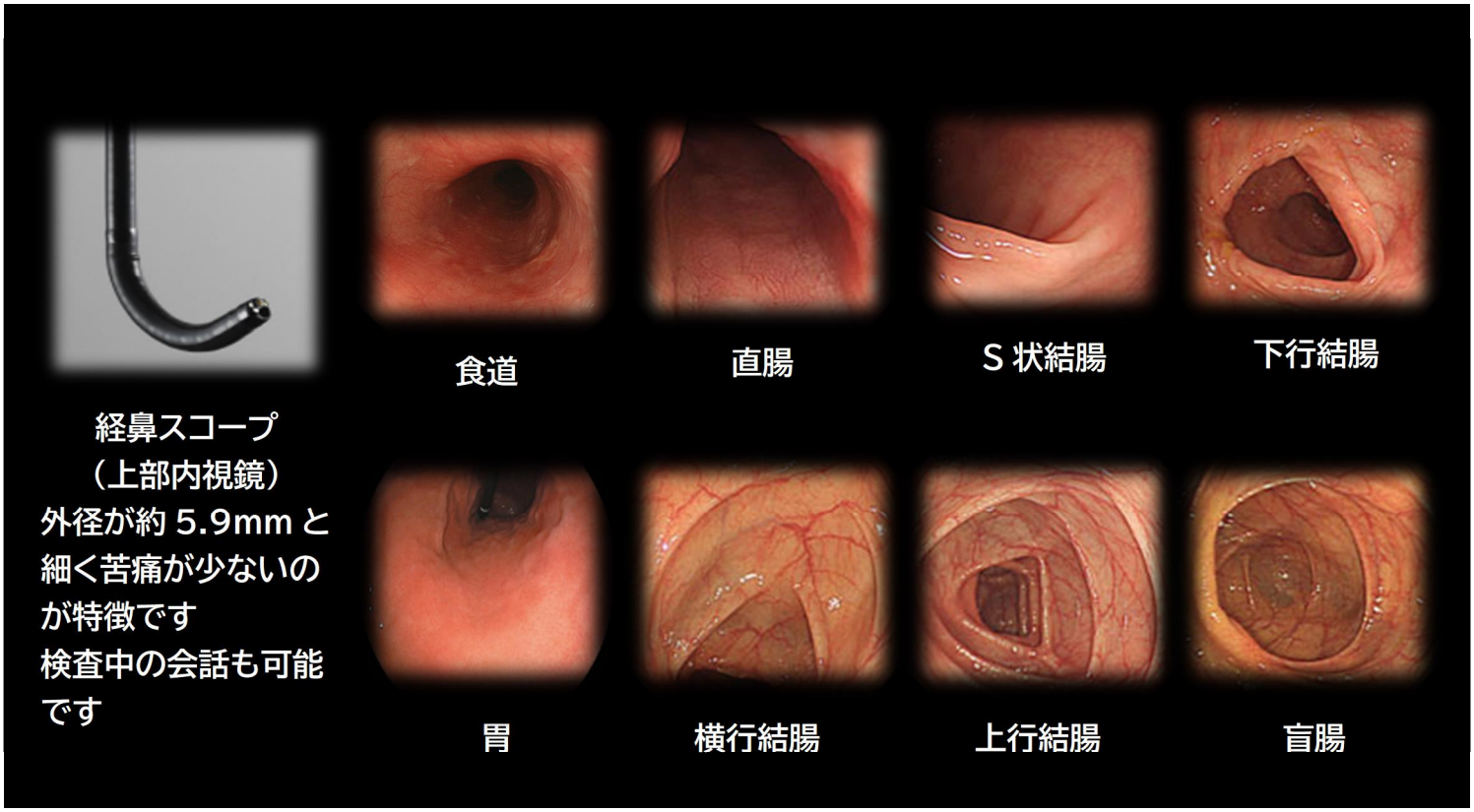
# 内視鏡検査について

**内視鏡検査には**
**上部内視鏡検査（経鼻胃カメラ検査）と**
**下部内視鏡検査（大腸カメラ検査）があります**

○先端にカメラの付いた細い柔軟なチューブ（内視鏡）を上部検査時には鼻、下部検査時には肛門から、各々のチューブを挿入し、食道・胃・十二指腸などの内部をテレビモニタに写し出して、直接観察・診断が行える検査です

○小さなポリープは切除可能です

○検査の前に十分な説明を行い、リラックスして検査を受けて頂けるよう心がけております




**異常所見を疑った場合などには、精密検査を追加する場合もあります**